表現技法(1)

表現技法

言葉の使い方、並べ方を工夫することで、印象的な表現にしたり、言葉にリズムをもたせたりすることができる。このような表現技法には、比喩・体言止め・倒置・対句などがある。

比喩

ある物事を、似たところのある別の物事を使って表現することを、**比喩（たとえ）**という。比喩は二つのものの間の類似点に着目した表現である。

①**直喩**（**明喩**）…「まるで～」「～ようだ」「～みたいだ」などの言葉を使ってたとえる。

・山のような宿題。　・滝みたいな雨。

②**隠喩**（**暗喩**）…「まるで～」「～ようだ」「～みたいだ」などの言葉を使わずにたとえる。

・人生は旅だ。

③**擬人法**…人でないものを人に見立てて表す。

・看板が右に行けと言っている。
・なんだか車の機嫌が悪い。

類似点

比喩は、あるものを、類似点のある別の事柄で表現する技法である。比喩を読み取るときは、何が何にたとえられていて、どのように似ているのかを考えるとよい。

（例）リンゴのようなほっぺた
→ ほっぺたが赤いことを、リンゴを用いて表現している。（類似点は「赤い」）

確認テスト

(1) 次の文の（　）に当てはまる言葉をそれぞれ選びなさい。

「まるで……」「……ようだ」「……みたいだ」といった、比喩であることを表す言葉を使ってたとえる表現技法を（①）、使わずにたとえる表現技法を（②）という。

ア 直喩　イ 隠喩　ウ 擬人法

①［　　］②［　　］

(2) 次の文のように、人ではないものを人に見立てて表現する技法を何というか。後から選びなさい。

風がささやいている。

ア 直喩　イ 隠喩　ウ 擬人法

［　　］

(3) 次の文で用いられている表現技法を選びなさい。

まるで雪のように白いうさぎ。

ア 直喩　イ 隠喩　ウ 擬人法

［　　］

(4) 次の文で用いられている表現技法を選びなさい。

笑顔（えがお）は人と人との間の橋だ。

ア 直喩　イ 隠喩　ウ 擬人法

［　　］